

提 案 概 要

(「北九州市ほたる館」 指定管理者)

団体名：九州造園・グリーンワーク共同事業体

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針

●理念

ほたる館内の展示による情報発信、水辺環境学習の推進、日本全国・海外のほたるネットワークの形成を目標として管理運営を行なって参ります。

●コンセプトテーマ

ホテルで広がる水辺環境の情報発信、環境学習、環境保全ネットワーク

●基本方針

①ホテルなど水生生物の保護育成及び生息環境に関する学習・研究

- ・保育園、幼稚園、小学校などに対する環境教育活動の推進
- ・外部講師を招いての環境学習の実施
- ・出前講演会の積極的な実施
- ・全国のホテルプロジェクトとの連携

②水辺環境に関する情報の収集や発信及び地域交流の場として活用

- ・ホテルの昼夜逆転展示
- ・水辺に生息する生き物の展示
- ・海外との情報交換及び交流
- ・ホテルや水生生物などをテーマとしたイベントの実施
- ・マイボタル制度の実施

③山田緑地との効果的な連携

- ・山田緑地「夜のホテル探検隊」の協力
- ・山田緑地でのゲンジボタルの飛翔調査
- ・山田緑地でのホテル、カワニナの生息調査及び研究
- ・山田緑地みつばちプロジェクトと連携したニホンミツバチの飼育及び研究

④年間を通じたホテル成虫（ヘイケボタル）の展示

- ・ホテルやカワニナの飼育技術の向上
- ・ホテルの昼夜逆転飼育の向上

⑤ボランティアや市民団体との連携

- ・北九州市ほたるの会との連携
- ・ホテル愛護団体との連携
- ・ホテルサポーター（ボランティア）との連携

(2) 安定的な人的基盤や財政基盤

●株式会社九州造園

昭和 32 年に造園工事業として創業。北九州市を中心として造園の施工業務を行なっています。北九州市、国土交通省、福岡県などからの請負工事により安定した財政基盤があります。

●NPO法人グリーンワーク

平成 16 年に設立。会員 20 名、協力会社 7 社。北九州市との協働事業を進めています。北九州市からの委託事業などの安定した財政基盤があります。

(3) 実績や経験など

●株式会社九州造園

北九州市、国土交通省などの公園施工、公園維持管理業務の実績や経験が数多くあります。山田緑地・ほたる館の指定管理業務を平成 26 年から行なっています。

●NPO法人グリーンワーク

「緑豊かなまちづくりの推進」をミッションとし、北九州市との協働事業の経験や実績があります。山田緑地・ほたる館の指定管理業務を平成 26 年から行なっています。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

水辺環境の拠点施設として、展示施設の充実と生き物の情報発信を進めていきます。

- ①光るヘイケボタルがいつでも見られる展示を継続して実施します。
- ②一年中ヘイケボタルの卵、幼虫を観察できるように展示を行います。
- ③水辺に生息する昆虫、爬虫類、両生類、魚類などの展示を行います。
- ④里山の生き物や昆虫、鳥の標本などの展示や水辺関係の児童の作品などを展示していきます。
- ⑤マイボタル制度の推進と運営サポートを行います。
- ⑥水辺に生息する昆虫などをテーマとした講座を実施します。
- ⑦山田緑地とゲンジボタルやカワニナの調査研究を連携して行っています。
- ⑧保育園、幼稚園、小学校等に対しホタルをテーマとした環境教育を進めます。
- ⑨市民センターや公民館、図書館、小学校などでホタルの出前講演を実施します。
- ⑩全国のホタルに関わる団体と交流を図ります。
- ⑪マレーシア、マカオ、香港、中国、韓国など海外からの団体を積極的に受け入れ、技術協力を致します。
- ⑫デイサービスなど高齢者にホタルを初めとする生き物の情報を発信していきます。

(2) 利用者の満足度

●利用者の満足度目標

平成 35 年度の利用者アンケート満足度を 96%とします。

●来館者が身近な情報と触れ合うことのできる親しみある環境学習施設を提供します。

- ①来館者の目線で応える接客を実施します。
- ②パンフレットの見直しを行います。
- ③アンケート調査の実施と改善案の策定を実施します。
- ④クレーム対応を徹底します。
- ⑤ホームページの充実を図ります。
- ⑥小学校など近隣施設への積極的な情報発信を行ないます。
- ⑦「ほたる館だより」を毎月1回発行します。
- ⑧エサやり体験やふれあい体験など利用者参加型の展示を行います。

【効率性】に関する取組み

(1) 指定管理料及び収入

●以下の目標による管理運営を実行します。

【目標(数値目標)】

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
管理運営費	12,520	12,520	12,520	12,520	12,520
利用料収入	0	0	0	0	0
指定管理料	12,520	12,520	12,520	12,520	12,520

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

●経費低減、収入増加に向けた創意工夫を行ないます。

- ①管理履歴に基づく効果的・効率的な維持管理を行います。
- ②緊急性・優先度を考慮した経費の効果的・効率的な執行を行います。
- ③エネルギー削減を実施します。

【適正性】に関する取組み

(1) 管理運営体制など

●管理運営体制

館長含め経験豊かな2名とします。スタッフには業務に必要な基本的技術や専門的技術を深める様々な教育を行います。スタッフの教育は基本的なものは日常業務を通じて行い、専門的なものは外部研修等を行います。

また、近隣の市民センターや小学校、自治連合会などと連携し展示や飼育作業、イベントなどを行って行きます。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

●平等利用

私達は、正当な理由がない限り、利用を拒まず、特定の個人や団体を優先することのないようにすることを徹底し

子どもから成人、高齢者、障害者がそれぞれの目的で施設が利用できるよう管理運営を行なっていきます。

- ①来館者への丁寧な対応を行ないます。
- ②偏りない配慮で対応します。
- ③検証と研修を行ないます。

●安全対策

- ①施設利用者に対する安全対策として危険箇所の表示を行ないます。
- ②イベントや事業において知り得る利用者の個人情報適切で安全管理を行います。
- ③館内の安全点検や施設の防犯、防災対策を徹底します。
- ④避難訓練や消火器の実射訓練など緊急時の対応に備えた訓練を実施していきます。

●危機管理体制

事故や災害の場合には速やかに情報を収集し、対処できる体制づくりを行います。

対策本部は管理委員会として(株)九州造園本社に置きます。

提案額（千円）

3 1 年度	12,520 千円
3 2 年度	12,520 千円
3 3 年度	12,520 千円
3 4 年度	12,520 千円
3 5 年度	12,520 千円